



さようならヴァレンティン監督

去る 10 月 4 日午後 3 時。ヴァレンティン通りは 1500 人もの住民で埋め尽くされた。ロッテマリーンズ監督ボビー・ヴァレンティンを送る住民による送別会「Last Meeting on Valentine's Way」だ。

ボビーと共に退団する選手達も多く住むパティオス 15 番街前に敷かれたのはレッドカーペット。ファンの求めるハイタッチにひとつずつ丁寧に応えながら手作りの舞台に登るボビーと選手達 10 人。

選手の中にはベニーのように 6 年間もベイタウンに住み、子どもの誕生をこの街で迎えた選手もいる。去りがたい気持ちはファンと同じだ。

「私はエイエンにベイタウンに住んでいます」。日本語で別れを惜しむヴァレンティン監督の言葉で舞台は最高潮に達した（写真はこの企画の実行委員会が撮影したものです）。



ヴァレンティン送別会

「すごかったですね〜。あんなに沢山の人が来てくれると思わなかった」。ヴァレンティン監督の住民送別会「Last Meeting on Valentine's Way」を企画した川又さん（11 番街在住）はイベントが終わって 1 週間たってはまだ興奮が覚めやらぬ様子で話しはじめた。【松村】

ー 何人くらいの方が集まったんですか。朝日新聞では 1000 人と書いていました。

「いや、それがよく分からないんですよ（笑）。こちらの計算では 1500 人くらい来ていたんじゃないか・・・という程度で、正確なところは不明なんです。ただ 1000 人は超えていたと思います。準備不足もあったので 300 人も来てくれればいいかな、というところでスタートしたんですが、ほんとに驚きました」

ー 住民で送る送別会というコンセプトがよかったですね。最初から球団抜きを考えたんですか。

「いや。体裁は特に考えた訳ではなかったんです。恒例の『出陣式』が終わった頃から、今年限りでロッテを退団し帰国するボビーや選手のみなさんを街のみんなで温かく送りたいという気持ちだけでした。しかしシーズンが始まると監督も選手も忙しく、スケジュールを決めることもできませんでした」。

ー それが、最後の楽天戦のあと急展開して決まったとか？

「ええ。ボビー（ヴァレンティン監督）にはシーズン中から送別会のことは伝えていたんですが、こちらでは退団する選手や関係者の数も分からず、スケジュールも組めずに困っていました。そしたらボビーが退団予定者の全員に直接声をかけてくれて。あっという間に決まりました」。

ー 嬉しかった？

「もちろん。街の送別会のことをちゃんと考えてくれていたんだと。涙が出るほど嬉しかった」。

ー それから猛烈に忙しく準備したそうですね。そのときのお話を聞かせてください。

「大変でした。小さな集まりだと思っていたんですが、道路の使用許可など官庁との連

絡もしないといけないし、イベント本体の準備も進めなければいけない。でもこういうことを始めるとすぐに協力してくれる人が集まるのがこの街の強みですね。役所との折衝は商店会の山根さんが買って出てくれました。5 人ほどの仲間が集まって、送別式のプログラムを考え、赤いカーペットを敷いて、舞台に上がってもらって・・・と。だけど、なんだか足りない。スムーズには進みそうなんです。ちょっと盛り上がり、と思っていたとき誰かが『そうだ。横断幕を作ろう』って言い出して」

ー あ、「Thank you for the great time」って舞台の上に書いてあったやつですね。あんなの簡単にできないでしょう。

「大変でした。やり方はパソコンを使って作る方法があるんですが、時間がなかった。でもみんなの動きは速かった。すぐに布を買いに行き。17 番街の集会室を借りてはじめました」。

ー イベントでも何かハプニングがあったそうですね。

「はは。ハプニングには事欠かないんですが（笑）、ちょっと青くなったのが花束の数かな。実は最初の情報では退団予定者はボビーを入れて 8 人という予定でした。ところが花束を渡そうと舞台を見ると、何と 10 人いる。あわてました。あと 2 つどうするか。でもすぐにボビーが親しくしていた "きらら" さんが花束を準備してくれて。助かりました」

ー もうひとつ。皆さんにお知らせしたいことがあるそうですね。

「ええ。実はボビーが成田か

ら出発する当日。僕の家で荷物が届いたんです。差出人はボビー本人でした。開けてみると、なんと彼がシーズン中に愛用していたユニフォームが入っていました。しかもユニフォームには「Baytown is No.1」と・・・、泣けてしまいました。でも、これはボビーが街のみんなにくれた贈り物だと思うんです。僕ひとりが受け取る訳にはいかないなと」

ー どうするんですか。

「しばらくは僕の家においておきますが、何かみなさんでいつもボビーと選手達のことを思い出せるような場所、例えばコアなんかで展示できないかと思っています」

ヴァレンティン監督が去ったロッテマリーンズとベイタウンの関係は必ずしも今までのようには行かないかもしれない。監督のすすめもあり、外国人選手は遠方の 2 軍監督も含め全員がベイタウンに住み、休日には公園で子ども達と気軽にキャッチボールをするなど選手と街の間にはファンと野球選手という以上のものが芽生えていた。

彼らが公園でキャッチボールした子ども達の中から、大リーグに羽ばたきボビーの指揮するチームでプレーする選手も出るかもしれない。そうなれば、この街とボビーとの出会いの話はまだ続くことになる。そんな夢を見ながら川又さんとのインタビューを終えた。



11 月のコア・イベント

11 月 21 日（土）わくわくおはなし会 11 月の常設おはなし会

11 月の常設おはなし会

時間：10:30 ～

場所：ベイタウン・コア 講習室（途中入場もできます）

～読書の秋、おはなしの秋、“わくわく”の秋～

秋のひと時、絵本の読み聞かせに耳を傾け、おはなしの世界に浸ってください。今月もわくわくするおはなし、ゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません、絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね！

予約は不要です。＊ 読み手も募集中、見学歓迎 ＊

連絡先： 井上 （211-0188 wak2@yahoo.co.jp）

11 月 28 日（土）寺子屋工作ランド

「どんぐりのヤジロベー」

時間：9:30 ～ 11:30

場所：ベイタウン・コア 工芸室

ベイタウンの街路樹のどんぐりでヤジロベーを作ります。

持ってくるもの：小刀、他工作道具

参加費：50 円（保険料）

11 月 22 日（日）ファツィオリの会

第 79 回ファツィオリの会

時間：9:30 ～ 11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に 1 度皆様にファツィオリを囲んで楽しんでいただける日です。声楽・その他の楽器でもご参加いただけます。

ご希望で非公開にもできます。

いっぱいになり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

申込締切：11 月 15 日（日）

連絡先：Tel, Fax：276-1428（下口）

11 月 19 日～ 26 日、12/3 の木曜日 公民館講座「文学講座」

松本清張、太宰治、大岡昇平、中里生誕 100 年

没後 50 年：永井荷風

「生誕 100 年、没後 50 年の作家」

11/19 ～ 26、12/3 の木曜日 14:00 ～ 16:00

成人対象、定員 30 名まで。申込 11/12 必着、往復はがきで打瀬公民館

〒261-0013 千葉県美浜区打瀬 2-13

電話：296-5100

記者が選ぶベイタウンの逸品 Vol.1

今月からスタートする「記者が選ぶベイタウンの逸品」は、身近な隠れた逸品を紹介することで、私たちの生活を豊かにすると同時に、ベイタウンのお店を盛り上げるために、ベイタウンニュース記者が個人的な嗜好で逸品を決めていくシリーズです。【金】



パティスリータルブ

洋菓子屋

場所：ミラマール1番館

営業：9:30～20:30

定休日：毎週火曜日

電話：043-351-7551

ベイタウンの中でもちょっと外れの目立たない場所に店を構える「パティスリータルブ」はまさに「洋菓子屋さん」と呼ぶに相応しい。生ケーキはもちろん、ロールケーキ、焼き菓자에ジェラート、クロワッサンまで、品数が豊富過ぎて迷ってしまうほど。洋菓子屋さんにはクロワッサン？と思った読者の皆さま、それこそが今回ご紹介するベイタウンの逸品、「パティスリータルブのクロワッサン」である。朝はパン食の記者は特にクロワッサンが好きで、いろいろ試してみた結果タルブのクロワッサンはピカ一だった。

クロワッサンの作り方をウェブで検索すると、材料も含め極めてシンプル。なんとなく素人でもできそうな気がするが、あの独特のパリパリさくさく感を味わえるものに出会うことはなかなか難しく、2004年10月にタルブがオープンしたときには、やっと求めていたものにたどり着いた感じがしたものだ。

オーナシェフの竹見さんがクロワッサンの材料の中で特にこだわっているものは発酵バター。粉はケーキなどと基本的に同じだが、

水は触媒浄水器の水を使用。お店のどの蛇口をひねっても浄水が出るようになっている。パン生地は前日に仕込んだものを冷蔵庫の中でねかし翌日焼いているが、できるだけ焼き立てのものを食べてもらうために、作り置きはしないでこまめに焼いている。

パリパリ感を出すため、生地表面に卵を二度塗りし、最初はパンの中を焼いて、途中で温度を高め切り替えて表面を焼いている。このような工夫からサクサクでありながらふわっとしたクロワッサンが焼きあがるのである。平日で40～50個、週末は100個以上売れるという。

店の場所がら通りがかりの人が買いに来ることは少ないので、特に雨の日はわざわざ買いに来てくれるお客さんのために在庫を切らさないようにしている。クロワッサン、シナモンクロワッサン、パン・オ・ショコラと3種類のなかで一番売れるのはシナモンクロワッサン。濃厚なシナモン味が受けている。

特筆すべきは店頭で売っているラスクだが、実は売れ残ったクロワッサンを輪切りに

し、グラニュー糖を混ぜ、オーブンで仕上げたもの。一袋66円で売られている。

小さい子供がいない我が家はケーキの需要があまりなく、タルブには、もっぱらクロワッサンを買に行っているが、ホームページ(<http://www.tarbes04.com/>)を見るとわかるように、実は誕生日や記念日のケーキも大人気であり、毎日練り直しているジェラートや季節限定のお菓子なども豊富だ。

フランスでの修行経験もある竹見さんは、独立を目指して長年いろいろな店で修行を続け、念願の初めてのお店をベイタウン内に持つに至っている。

小さいお子様から大人まで年齢を問わず「集えるお店」をコンセプトに、まだまだ食べてもらいたいお菓子がたくさんあると意気込む竹見さん。「パティスリータルブ」の明るい店内をぜひ一度のぞいてみて頂きたい。



ジュニアコーラス・フェアリーズ 「Fairies 5th Concert ～たいせつなもの～」

11月29日(日) 午後2時半開場 3時開演
コア音楽ホール 入場無料

指揮：相澤直人、森本真由美

ピアノ：白田圭介、秋場律子

パーカッション：渡部聡司

《特別ゲスト》CHILDHOOD(森光弘、白田圭介)

曲目：「くしゃみザウルス Jr」「風は今」ほか 作曲・横山潤子
「落葉」「ぼくは雲雀」ほか 作曲・新実徳英

結成8年目を迎えるフェアリーズは、去年に引き続き、今年も厳しい審査を経て全国少年少女合唱祭全国大会(こどもコーラスフェスティバル)に出場することができました。たくさんの感動と出会って、また少し成長したフェアリーズの演奏をぜひお聴きください。

今年のコンサートでは、全国大会で共演させていただいた、手笛とピアノのユニット「CHILDHOOD」が特別ゲストで参加してくださいます。笑顔と明るい歌声でホールがあふれます。

問い合わせ先：東(TEL：213-1028)

黒川侑ヴァイオリン・リサイタル

日時：12月27日(日) 午後13:30開場 14:00開演
(13:00より整理券を発行します)

入場料：2,500円(一般) 1,500円(中学生以下)

3,000円(親子ペアチケット)

チケット販売：きらら(CPW)、ジャイネパール(5番街)ギャラリーキキ(17番街)

問合せ：松村(TEL：211-6853 / mazmbtn@gmail.com)

昨年7月にベイタウン・コア音楽ホールでリサイタルを開いた黒川侑氏が12月に再びコア音楽ホールに帰ってきます。

黒川氏は今年はコンセルヴァトリウム・ウィーン音楽大学に留学中。現地でもリサイタルを開き、ウィーンフィルメンバーと共演するなど高い評価をヨーロッパでも得ている。

黒川氏はベイタウン・コア音楽ホールでの演奏を非常に楽しみにしており、今回も忙しい中スケジュールを調整してくれた。

プログラム

ヘンデル haendel

ヴァイオリン・ソナタ 第3番 へ長調 作品1

プロコフィエフ Prokofiev

ヴァイオリン・ソナタ 第1番 へ短調 作品80

サラサーテ Sarasate

ツィゴイネルワイゼン 作品20

ピアノ：林 絵里

街路樹に台風18号のツメ痕が

10月10日(土)、グリーンサム主催の「街路樹調査」が行われました。この日コアに集まった総勢19名の「気(木)」にかけ隊員「たちは、4つの班に分かれて街中を歩き、街路樹1本1本の生育状況を調査しました。街に出てみると、暴風をもたらした台風18号の影響が大きく、枝が折れたり、葉が枯れたりといった街路樹が多く見られました。特に打瀬北通り(ビーチテラス、ブエナテラーサ、海浜打瀬小、第三公園エリア)のナンキンハゼ35本は根元から伐られており、これも台風で折れて撤去されてしまったのだろうかと推測しながら、調査票に記録しました。

1時間半の調査を終えてコアに戻った隊員たちはそれぞれの調査結果を持ちよって、調査を終えての感想を発表しました。今年は台風の影響はあるものの、毎年大きな被害をもたらすアメリカシロヒトリの発生が少なく(薬剤散布の成果もあった?)、年々木々が育っている実感があるといった意見が多く聞かれました。幹まわりが100センチを超えるナンキンハゼの報告もありました。

一方で、メッセ大通りのケヤキやメッセ大通りより海側のトチノキの生育は今ひとつで、塩害に強い樹種への変更や、街路樹は植えず低木のみにするなどの選択肢も検討されるべきとの意見も出ました(ケヤキについては4、5年様子を見る必要ありとの意見も)。また、剪定の仕方や支柱の状態(特に縄

の食い込みや倒れ込み等)が生育をじゃましている箇所も多々見受けられました。メンテナンス方法などに疑問を感じたといった声も多く、不要な支柱等は早急に撤去をお願いするとともに、今後は専門家を含めてこれらの問題点を検証していくことも話し合われました。



上) 塩害で葉が枯れたナンキンハゼ



これらの意見も含めて調査結果をまとめ、今後の街路樹の管理に役立てていく予定です。



上) 支柱で幹が傷ついた様子
左) ナンキンハゼが伐られた跡



打瀬小前の大きく育ったユリノキ

下は幹周り102センチのナンキンハゼ、どこにあるかわかるかな?



初参加者の感想

- 活動しながら、グリーンサムの方に今までの樹木の様子や知識を教えていただけてよかった。
- 街路樹の名前をすらすらと説明できるようになりたい。もっと樹木銘板を付けてくれるとうれしい。
- よい経験になりました。日当たり、風の通り道、建物がガードするかどうかで、同じ樹木でも生育が異なることがわかった。

恒例 Kids International ハロウィンパレード

